

# 多治見市教育の現状

第3次多治見市教育基本計画策定に向けて

教育推進課作成

2022.7.11

# 目次

---

## 1. 児童生徒の人数について

①児童生徒の推移及び外国籍児童生徒の推移	2
----------------------	---

## 2. 学力・体力調査より

①児童生徒の学力	2
②児童生徒の体力	3
③体力・運動能力テストで全国平均を上回った種目一覧	4
④運動やスポーツは好きか（「好き」「やや好き」の推移）	5
⑤運動やスポーツの取り組む時間	5

## 3. 学習意識調査より

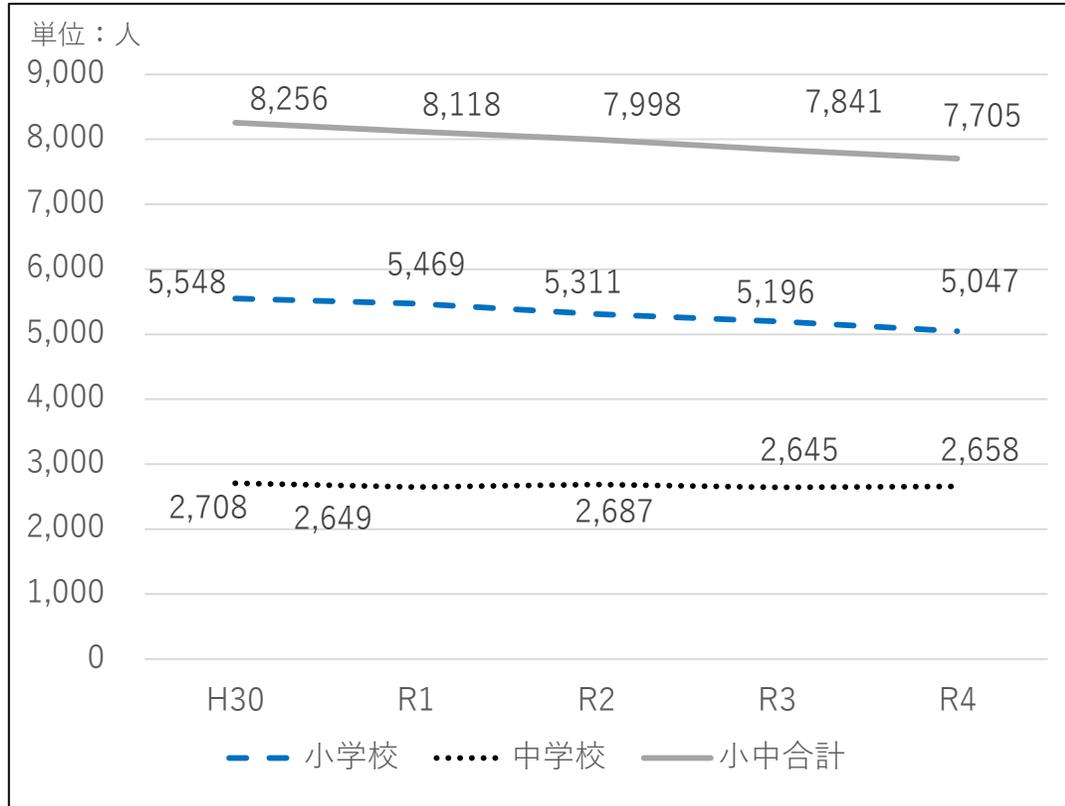
①先生の教え方で、どんなときうれしくなるか	6
②先生の教え方で、どんなとき嫌な気持ちになるか	6
③授業中よく発表するか	7
④自分で、予習や復習ができるか	7
⑤学校が楽しいと思うときはどんな時か	8

## 4. 行政評価報告書より

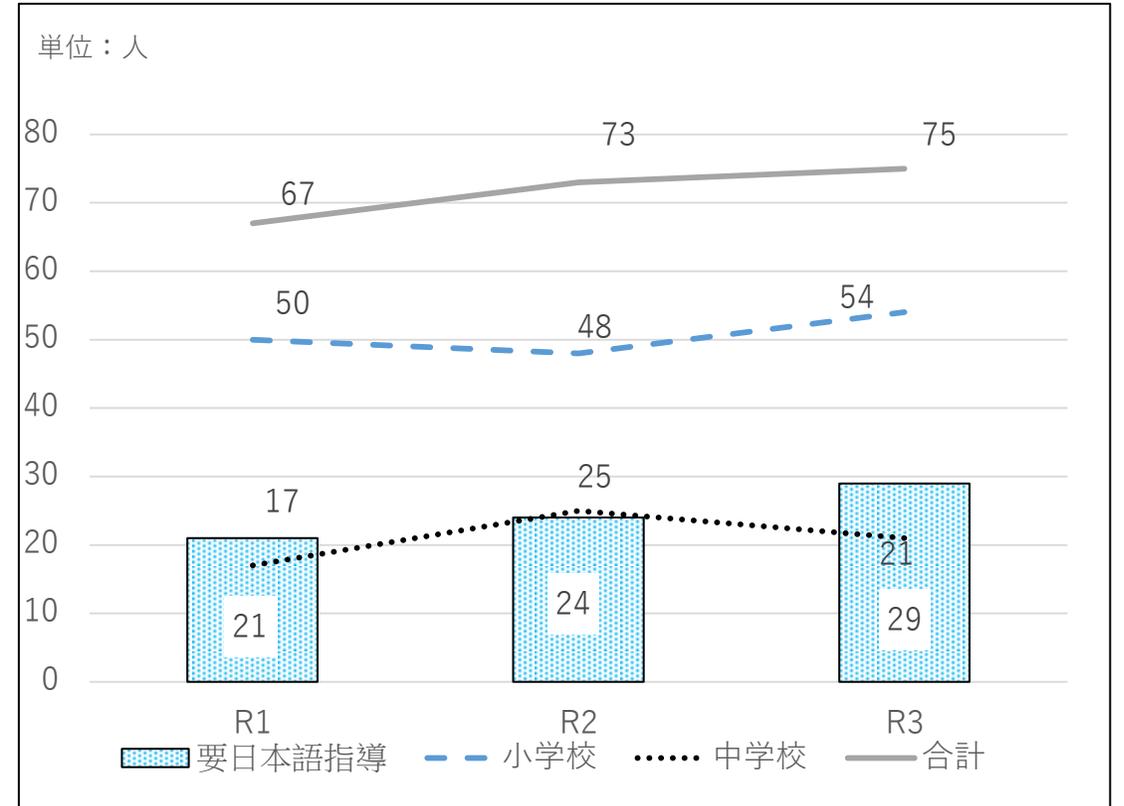
①自立・共生・自己肯定感に関するアンケート	8
②不登校児童生徒の推移	10
③さわらび学級通級者の推移	11
③教職員の超過勤務時間	11
④たじっこクラブ利用者数	12

## ▶ 児童生徒の推移及び外国籍児童生徒の推移

### 児童生徒数の推移



### 外国籍等児童生徒数の推移

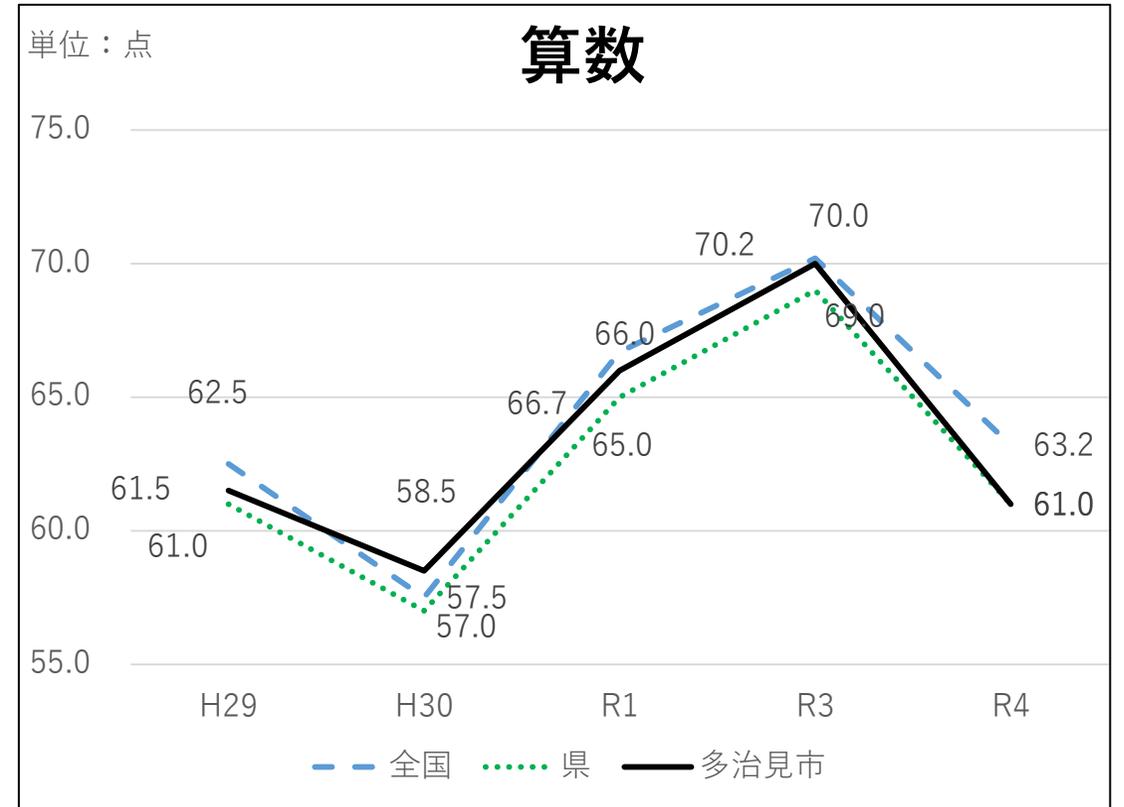
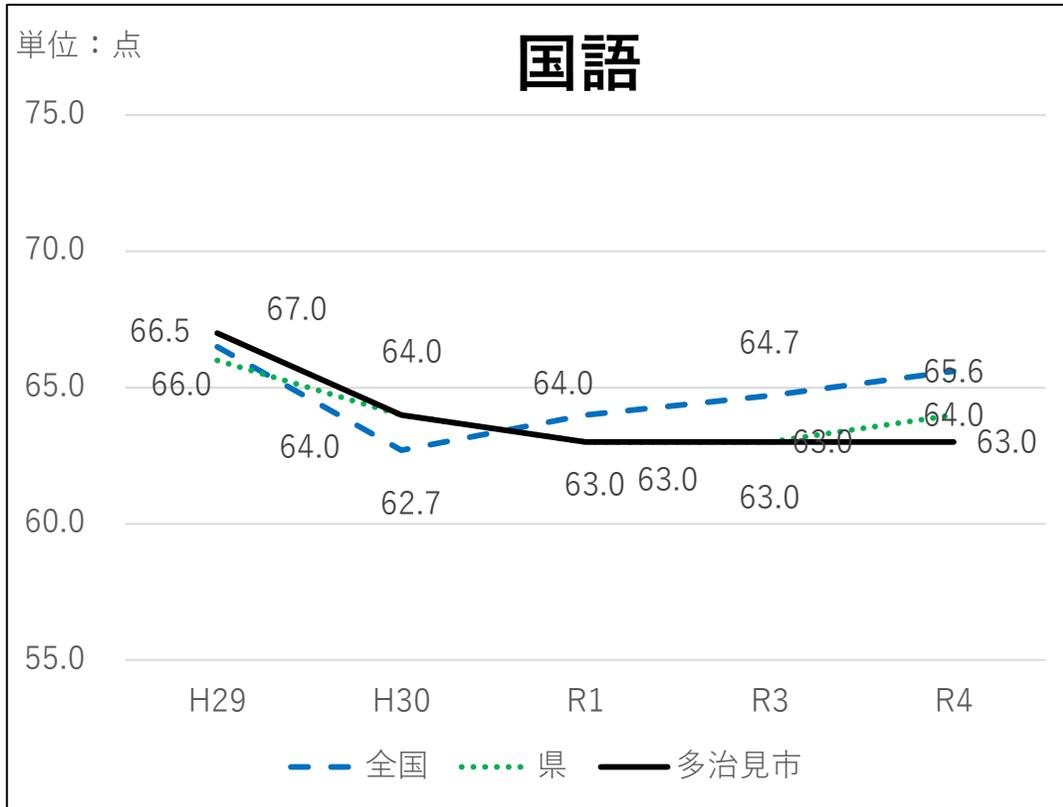


- ・ R4の児童生徒数は、5年前のH30と比較すると小学校で500人、中学校で50人、合計550人減少している。
- ・ 外国籍等児童生徒数、要日本語指導数は徐々に増加している。

# ▶児童生徒の学力

【出所】全国学力・学習状況調査（小6・中3対象）

## 小学校

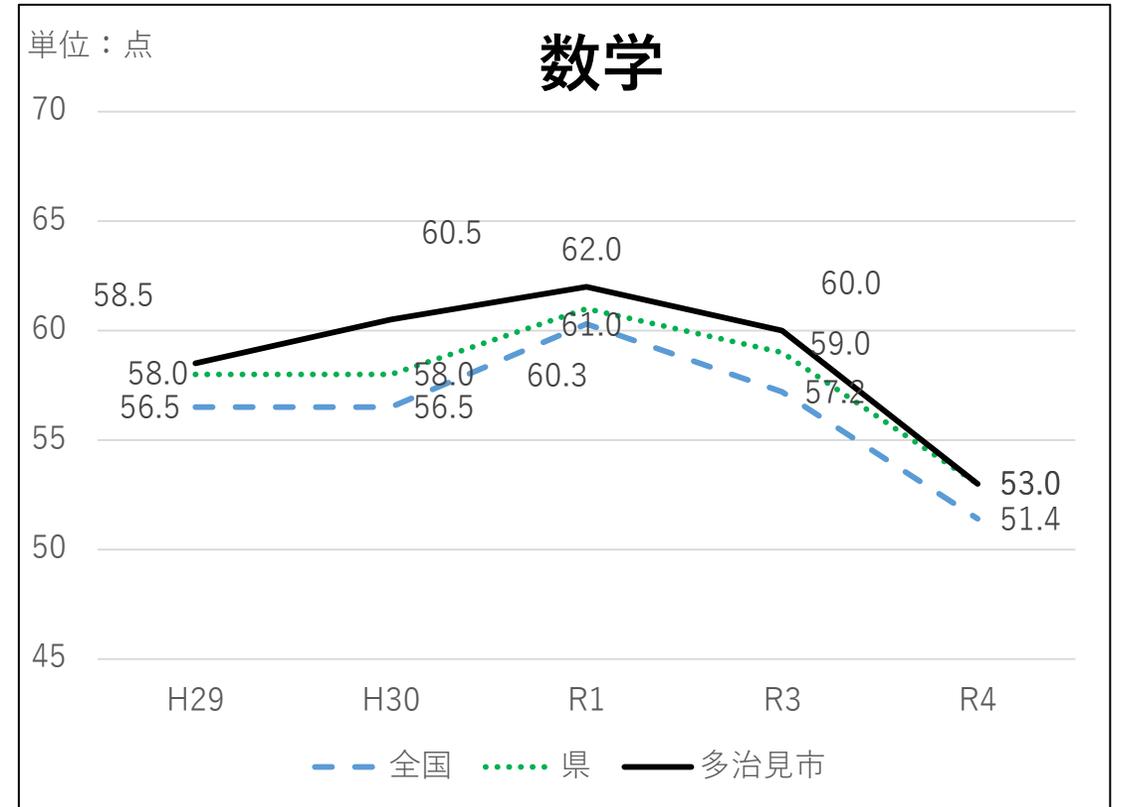
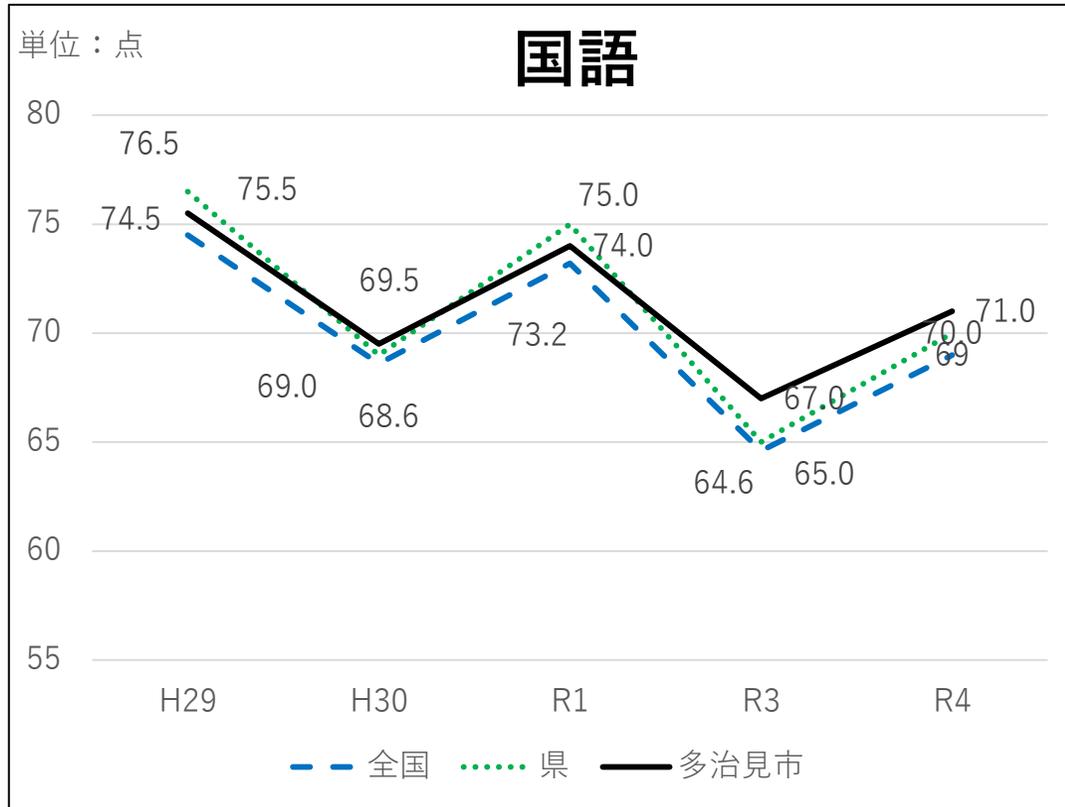


- ・全国学力・学習状況調査（小6,中3対象、毎年4月実施）の国語と算数の平均点を全国・県・多治見市と比較している。
- ・R3の国語は、全国平均より低く、県平均と同じであり、算数は、全国平均とほぼ同じであり、県平均より若干高い。
- ※H29とH30は、国語AB 算数ABと分かれていたので、ABの平均を出して国語と算数又は数学を合計した数値。
- ※R2は未実施。

# ▶ 児童生徒の学力

【出所】 全国学力・学習状況調査（小6・中3対象）

## 中学校



・全国学力・学習状況調査（小6,中3対象、毎年4月実施）の国語と数学の平均点を全国・県・多治見市と比較している。

・R3の国語・数学とも、全国・県平均より若干高い。

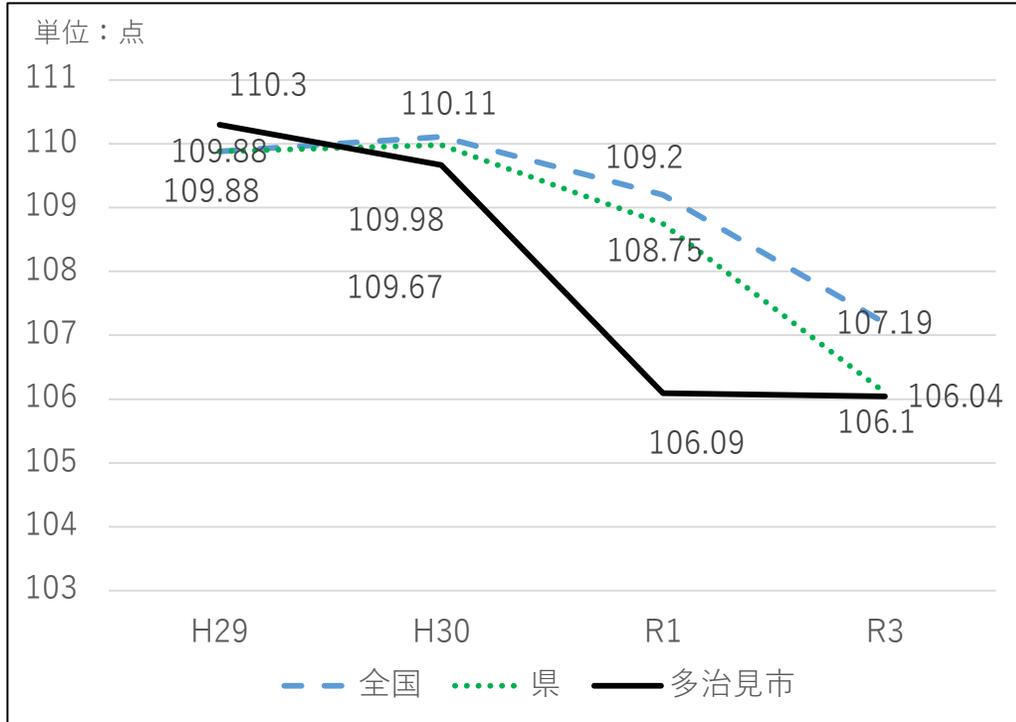
※H29とH30は、国語AB 算数ABと分かれていたので、ABの平均を出して国語と算数又は数学を合計した数値。

※R2は未実施

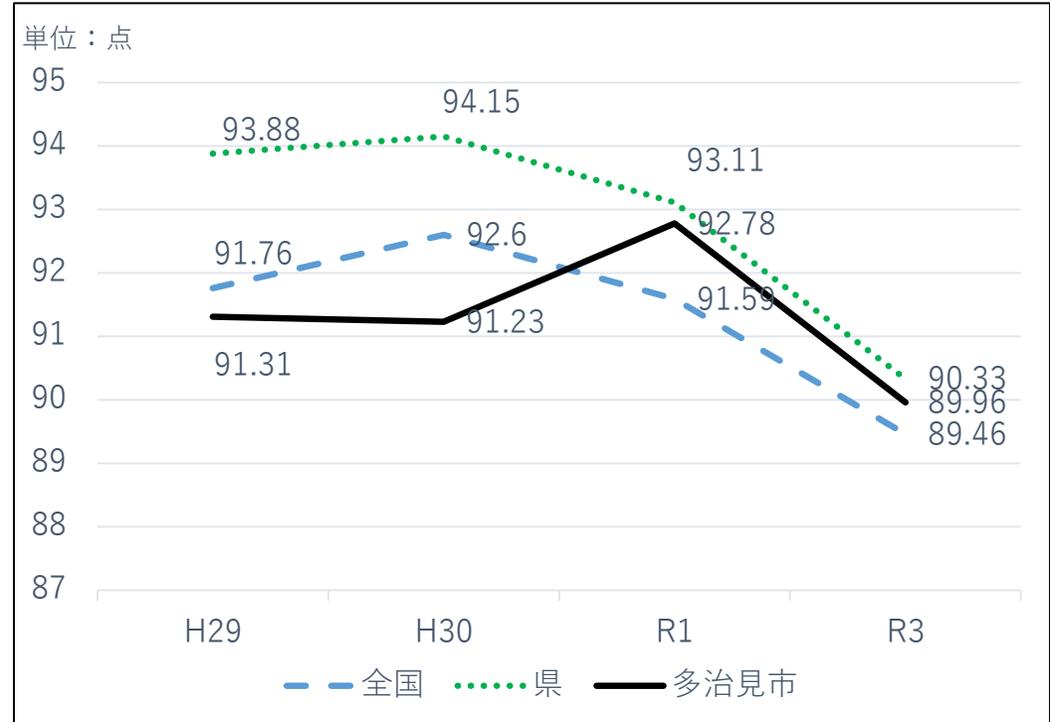
# ▶児童生徒の体力

【出所】全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2対象）

## 小学校



## 中学校

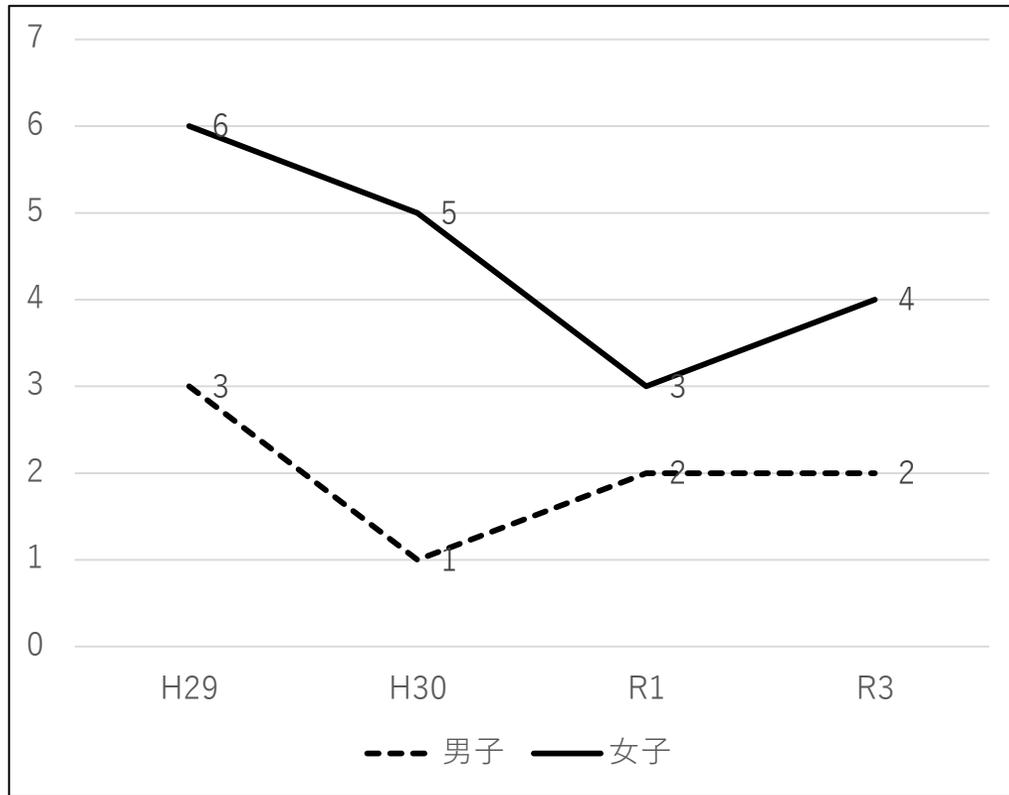


- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2対象）の体力合計点の平均値。
  - ・小学生は、H29で全国や県より高かったが、R1に大幅に低下する。R3はR1と同程度の値であり、県と変わらない。全体的には低下している。
  - ・中学生は、H29までは全国や県平均より低いですが、R1以降は全国よりは高くなる。全体的には低下している。
- ※体力合計点は、8種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ）の体力テスト成績を1点から10点に得点化して合計した体力テスト合計点。

# ▶体力・運動能力テストで全国平均を上回った種目一覧

【出所】体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2対象）

## 小学校



## 男子

	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m	立ち幅	ボール
H29				○	○			○
H30				○				
R1		○		○				
R3		○		○				

## 女子

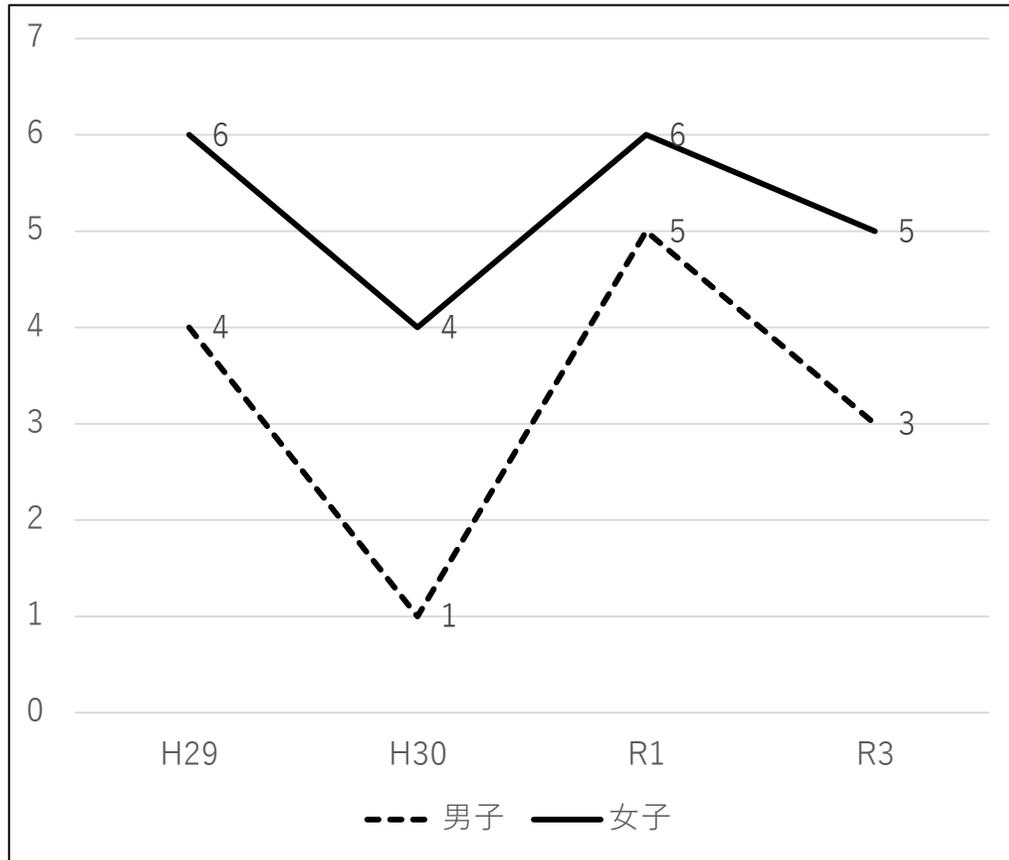
	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m	立ち幅	ボール
H29		○		○	○	○	○	○
H30		○		○	○	○		○
R1		○		○				○
R3		○		○			○	○

- ・男子と女子を比較すると、女子のほうが、全国平均を上回った種目が多い。
- ・男女両方で全国平均を上回るのは、上体起こし、反復横跳びである。全国平均を上回る種目は減ってきている。

# ▶体力・運動能力テストで全国平均を上回った種目一覧

【出所】体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2対象）

## 中学校



## 男子

	握力	上体	長座	反復	持久走	シャトル	50m	立ち幅	ボール
H29				○	○	○	○		
H30				○					
R1		○	○	○		○		○	
R3					○	○	○		

## 女子

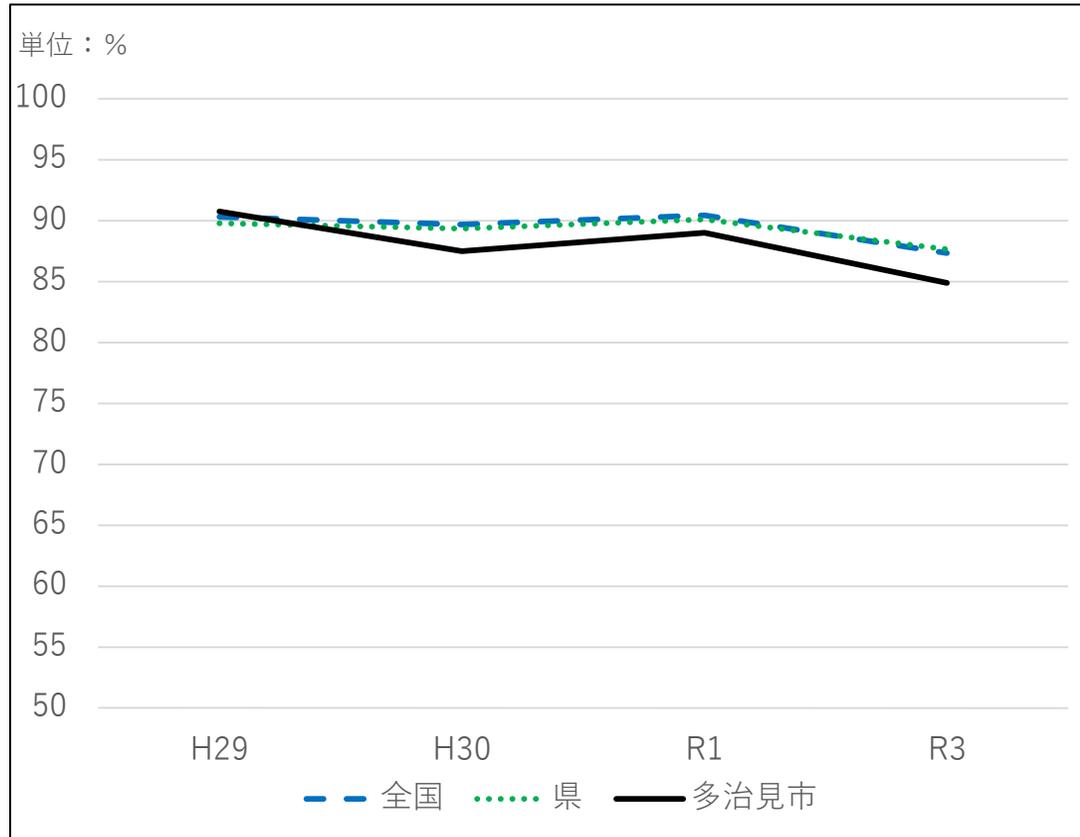
	握力	上体	長座	反復	持久走	シャトル	50m	立ち幅	ボール
H29		○		○	○		○	○	○
H30			○	○			○	○	
R1		○	○	○	○	○		○	
R3		○	○			○	○		○

- ・男子と女子を比較すると、女子のほうが、全国平均を上回った種目が多い。
- ・男女両方で全国平均を上回るのは、シャトルラン、50m走である。全国と比べ、握力やボール投げに弱さが見られる。

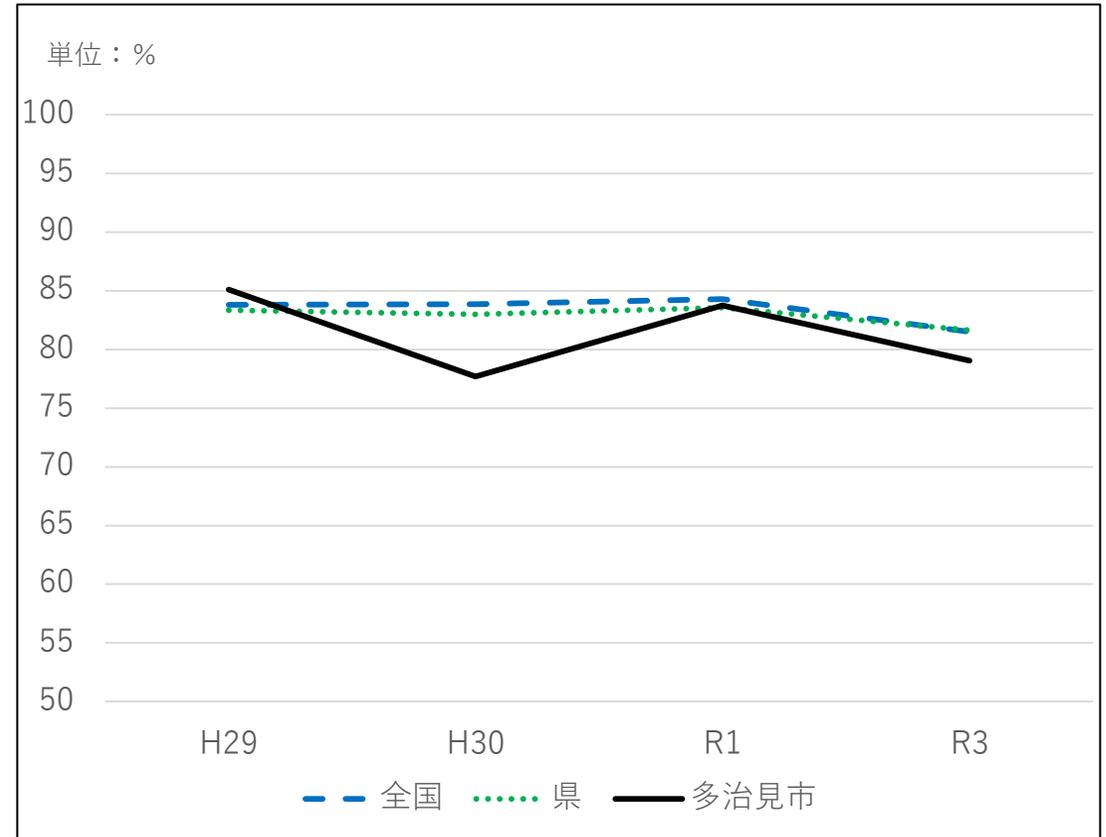
# ▶運動やスポーツは好きか（「好き」「やや好き」の推移）

【出所】体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2対象）

## 小学生



## 中学生

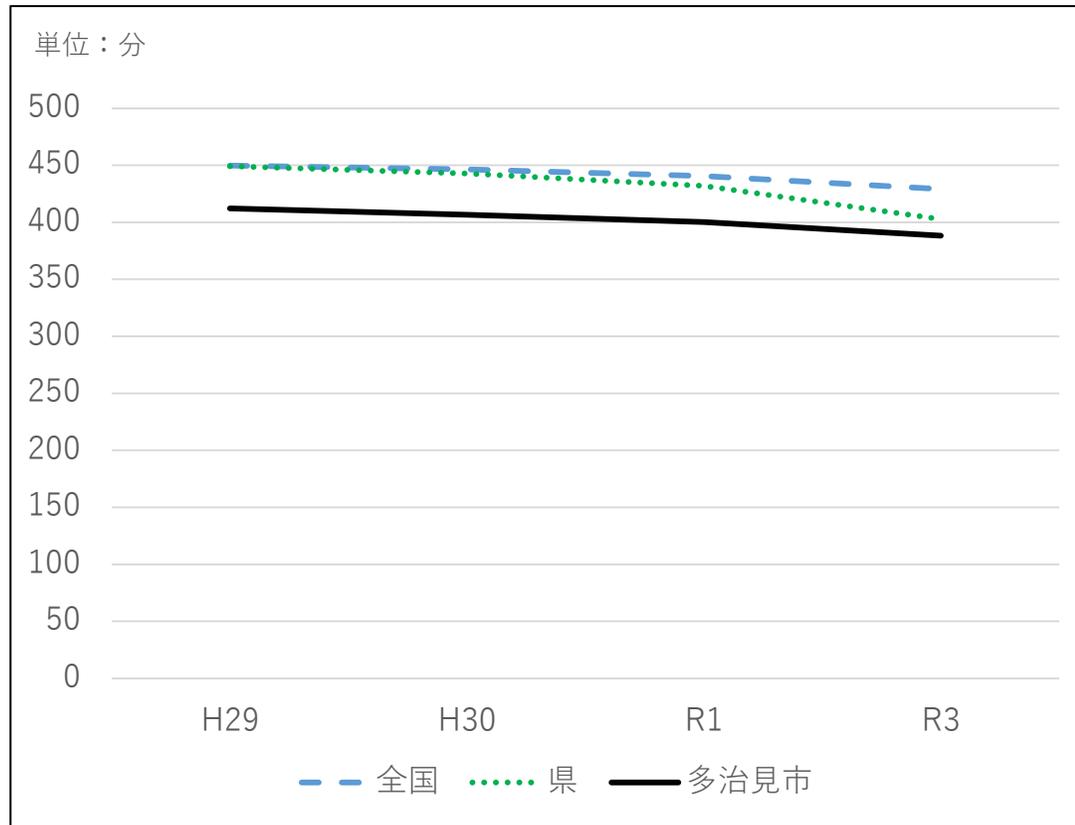


- ・小学生と中学生を比較すると、小学生のほうが、好き、やや好きの割合が高い。
- ・小中学生ともに、全国や県に比べて割合がわずかに低い。

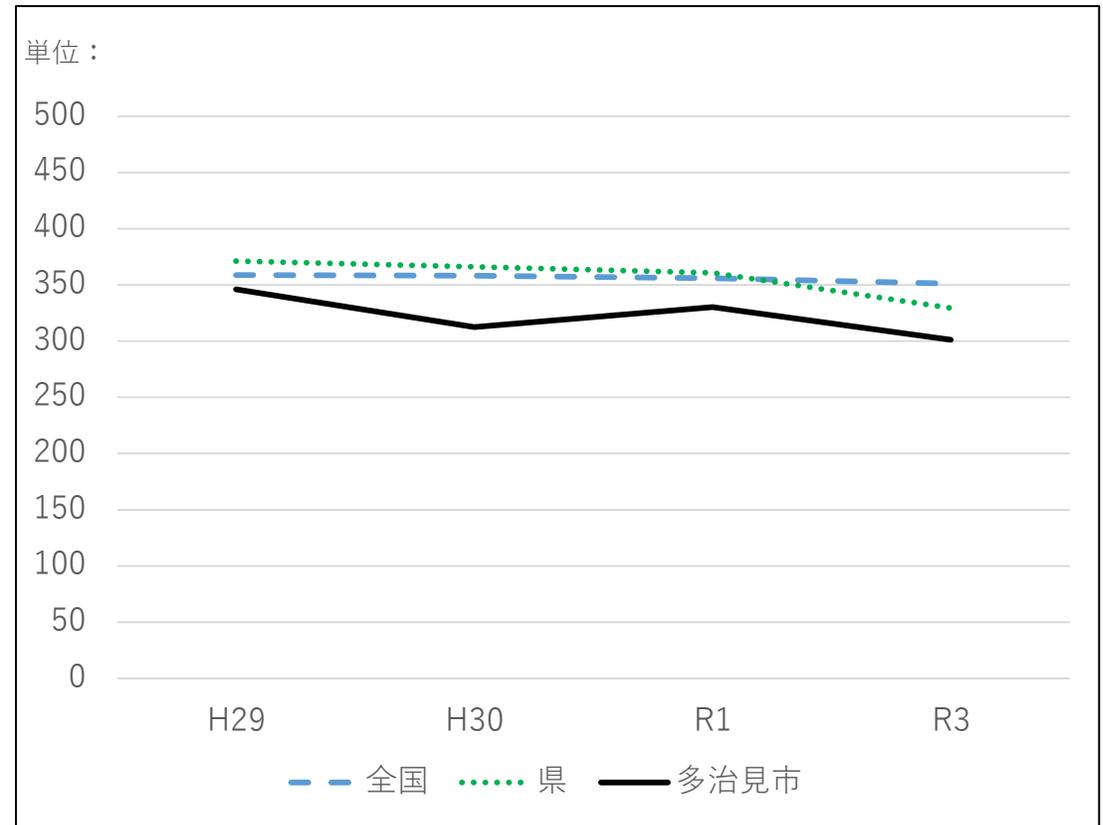
## ▶ 運動やスポーツの取り組む時間

【出所】 体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2対象）

### 男子



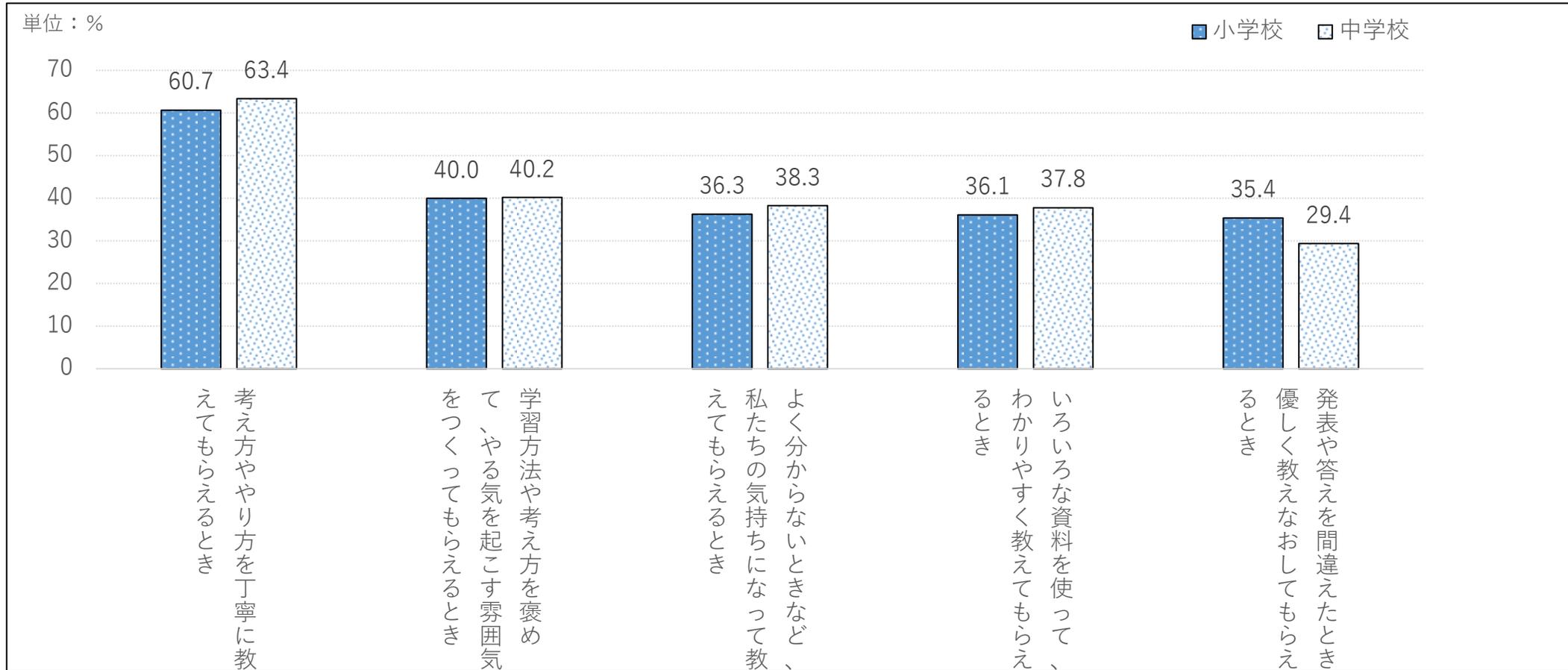
### 女子



・ 多治見市は全国や県よりも運動時間が短い。  
 ※ 1週間の運動時間の割合から、一人あたりの運動時間を算出。

# ▶先生の教え方で、どんなときうれしくなりますか。

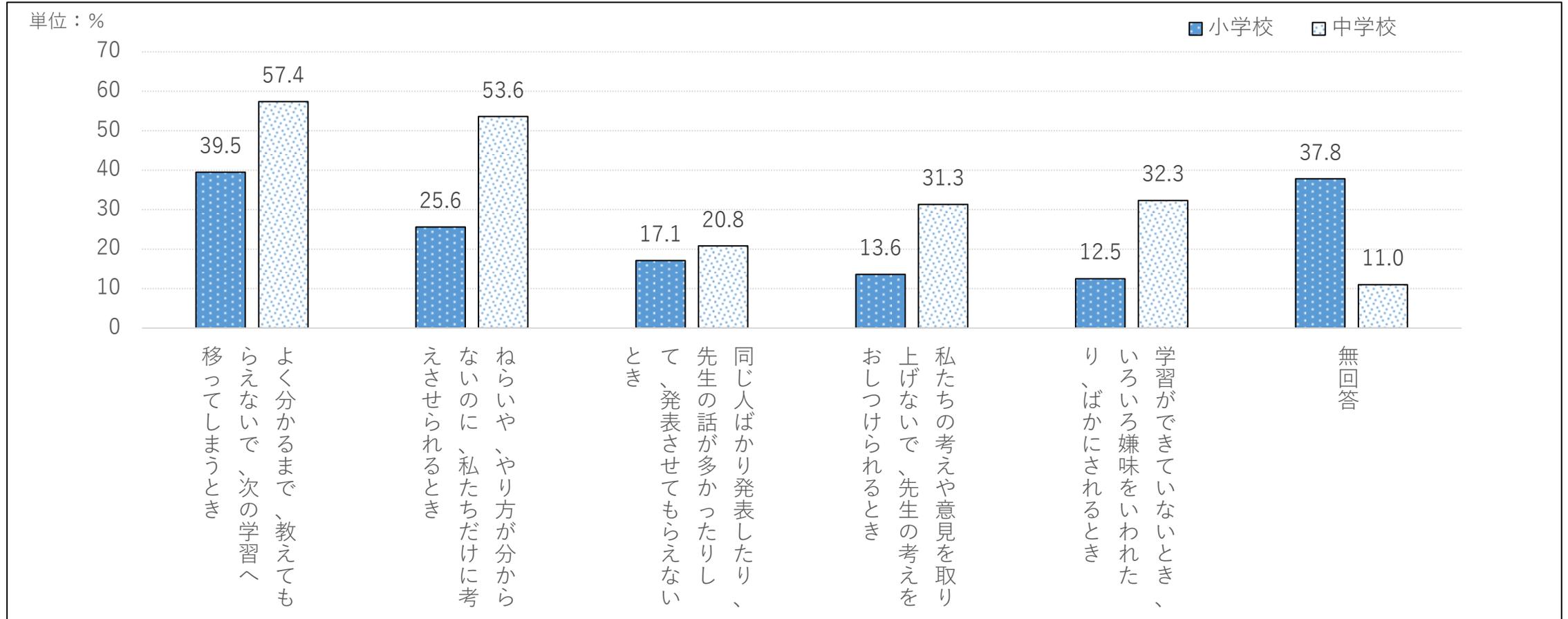
複数回答（小5・中2対象）



- ・「考え方ややり方を丁寧に教えてもらえるとき」を小中学生の約60%があげている。
- ・丁寧に教えてもらいたいという児童生徒が多いと見受けられる。

# ▶先生の教え方で、どんなとき嫌な気持ちになりますか。

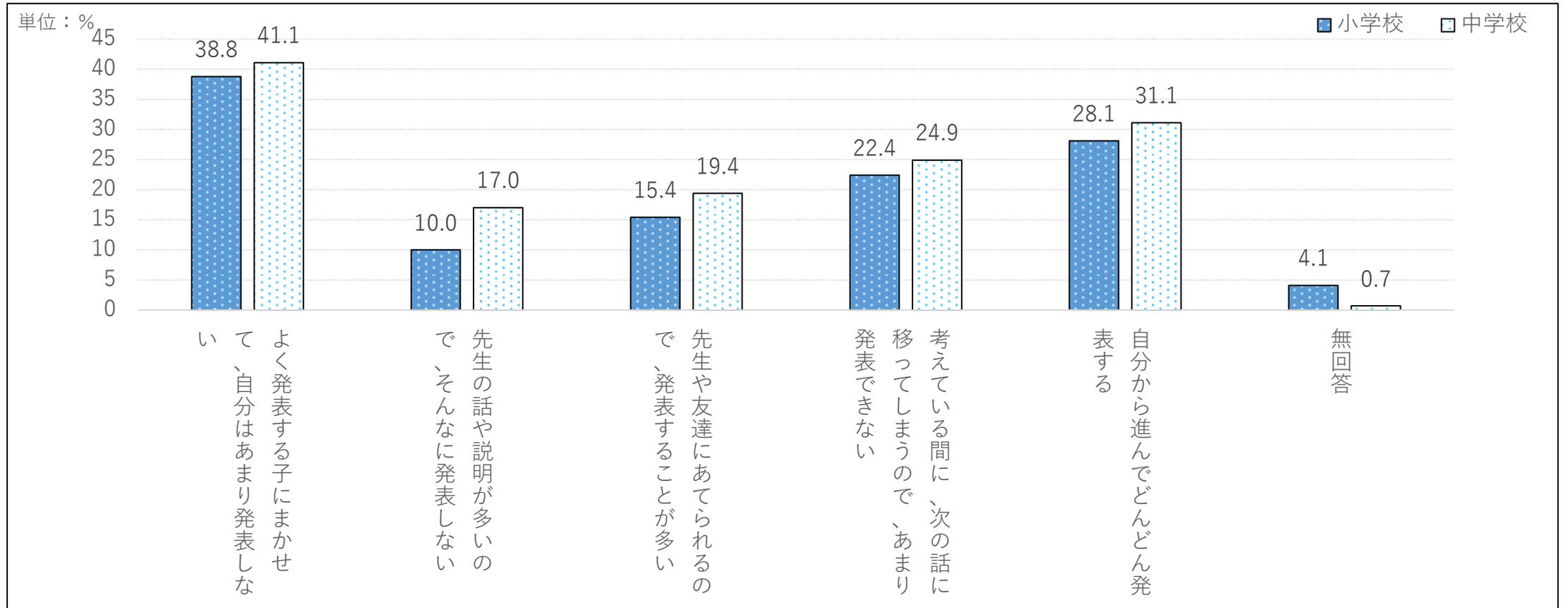
複数回答（小5・中2対象）



- ・「よく分かるまで、教えてもらえないとき」「やり方がわからないのに、やらせるとき」嫌な気持ちになる割合が高くなっている。
- ・前回の質問と合わせて、よく分かるまで丁寧に教えてほしい、やり方をしっかり教えてほしいという児童生徒が多いことが見受けられる。

# ▶授業中よく発表しますか。

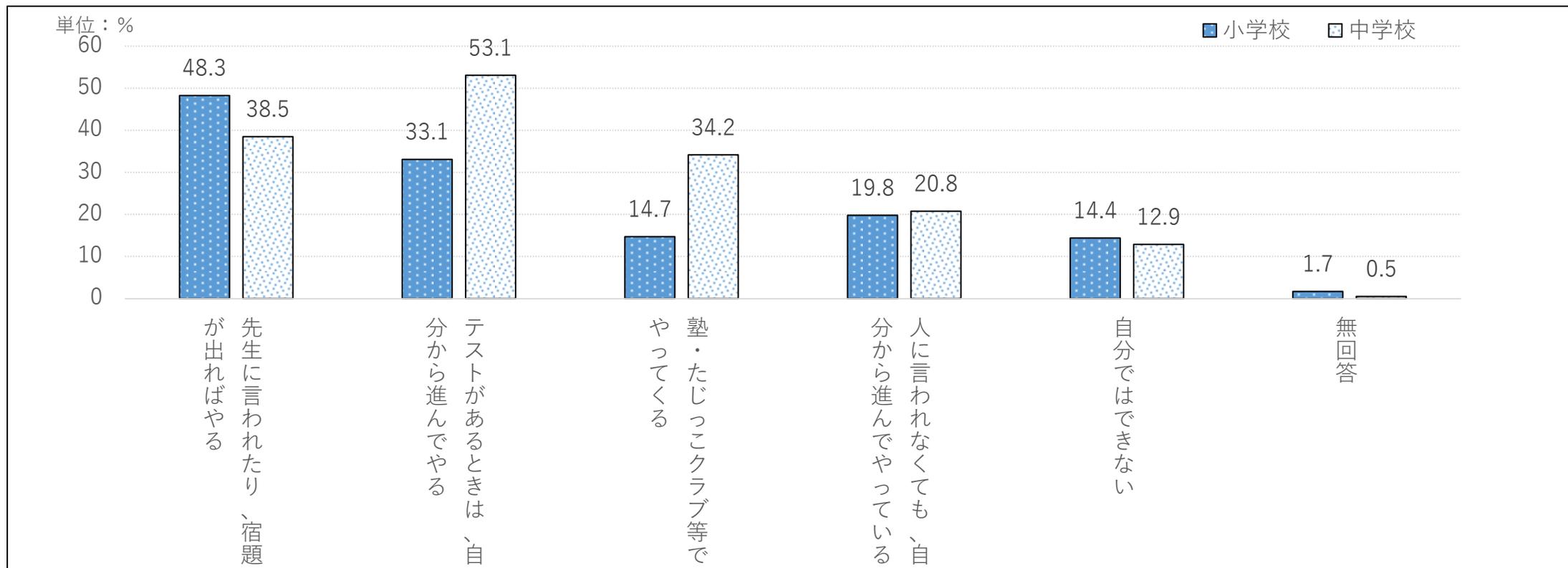
複数回答（小5・中2対象）



- ・小中学生とも約30%は自分から進んで発表し、約40%は発表する子にまかせるという姿勢である。
- ・自分から発表する子、発表しない子に分かれていることが見受けられる。

# ▶自分で、予習や復習ができますか。

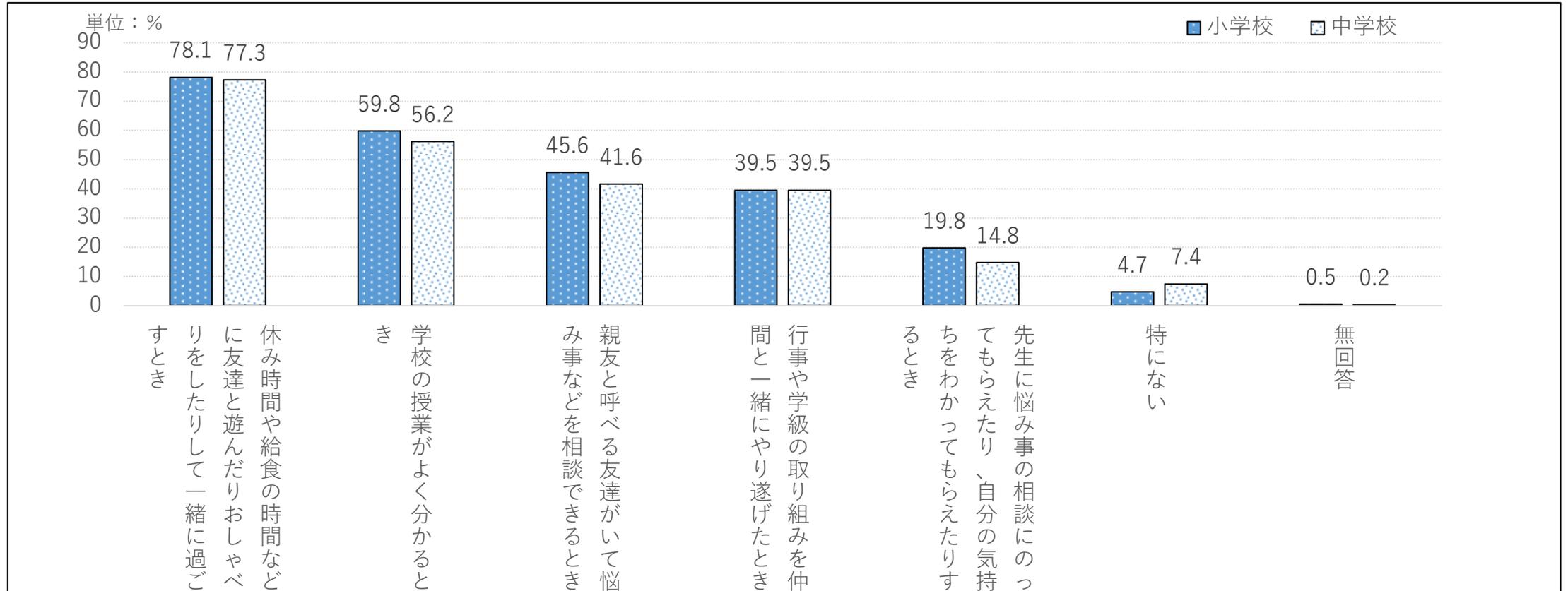
複数回答（小5・中2対象）



- ・小学生では、「先生に言われたり、宿題が出ればやる」が約50%で最も高い。中学生では、「テストがあるときはやる」が約50%で最も高い。「自分から進んでやる」のは、小中学生とも約20%である。
- ・宿題やテストがあると学習するが、自分から進んで学習する割合は低いことが見受けられる。

# ▶ 学校が楽しいと思うときはどんな時ですか。

複数回答（小5・中2対象）

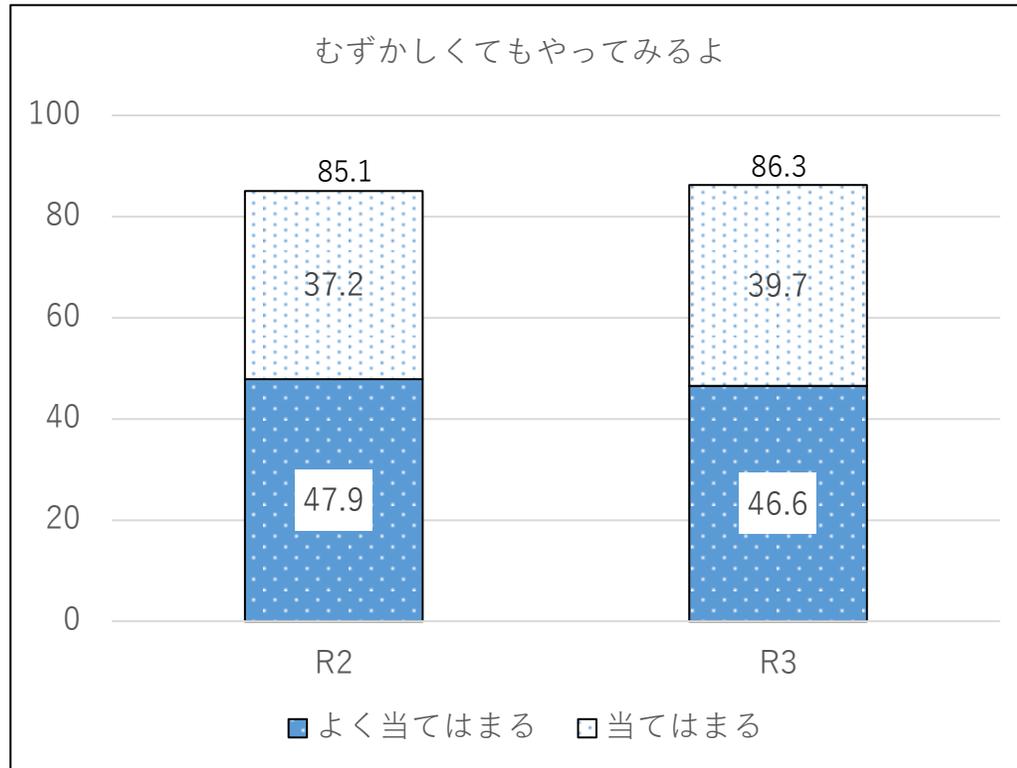


- ・「休み時間や給食の時間などに友達と一緒に過ごすとき」の割合が約80%、「学校の授業がよく分かるとき」が約60%となっている。
- ・楽しい学校生活を送るには、良好な友達関係、学習の理解が重要であることが見受けられる。

## ▶ 【自立】子どもは失敗を恐れず挑戦している

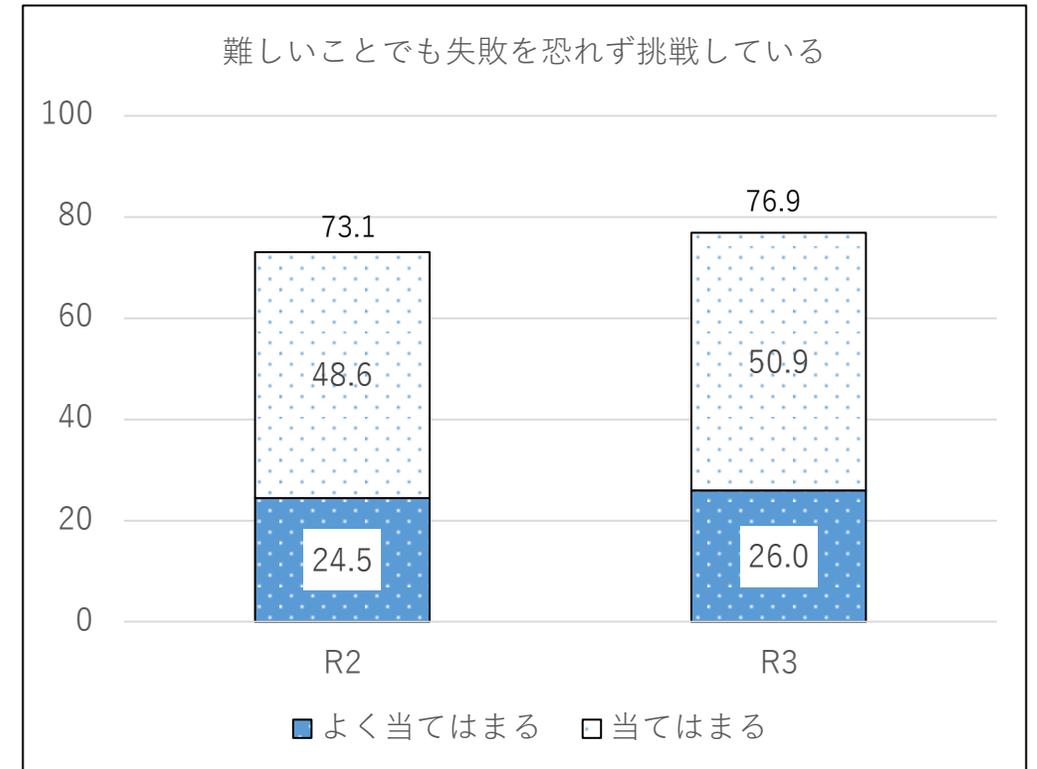
### 小学校

単位：%



### 中学校

単位：%

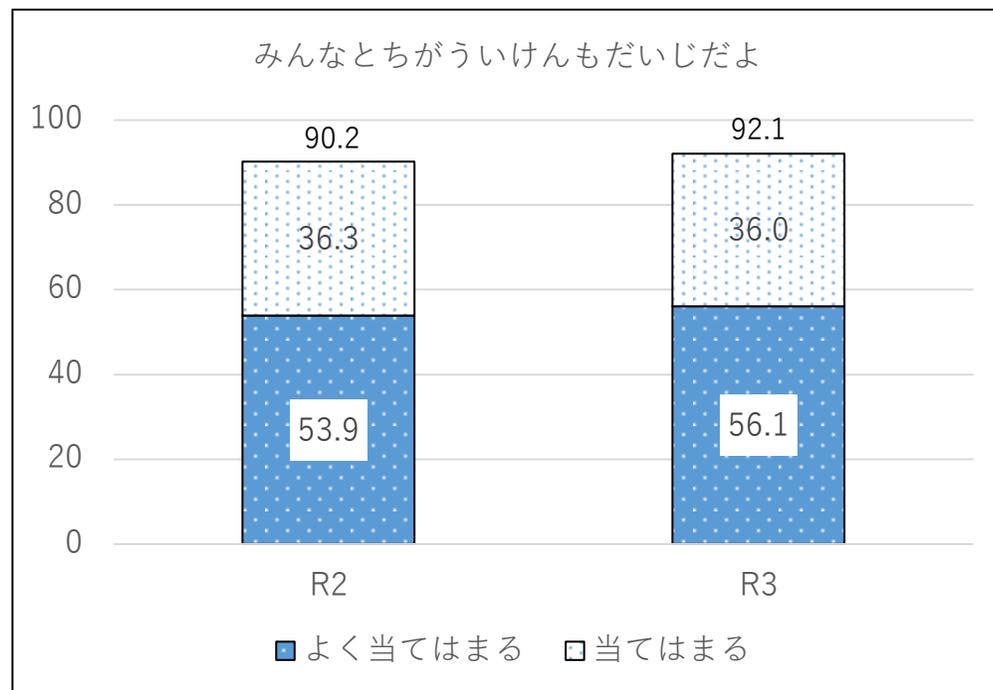


- ・ R2と比較するとR3は小学校で1.2%、中学校で3.8%割合が高くなっている。
- ・ コロナ禍で例年通りの行事がやれない状況が続き、新しい取り組みを考える過程で、失敗を恐れず挑戦する気持ちが芽生えている。

▶ 【共生】子どもは違う考えや立場も理解し、他者の意見に耳を傾け、折り合おうとしている

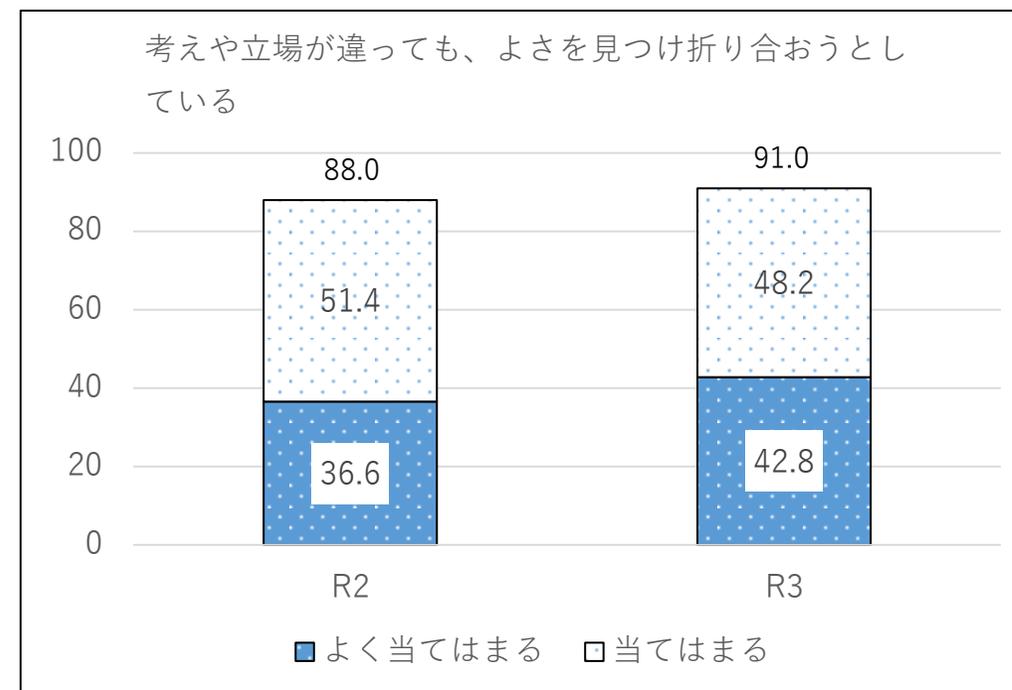
## 小学校

単位：%



## 中学校

単位：%

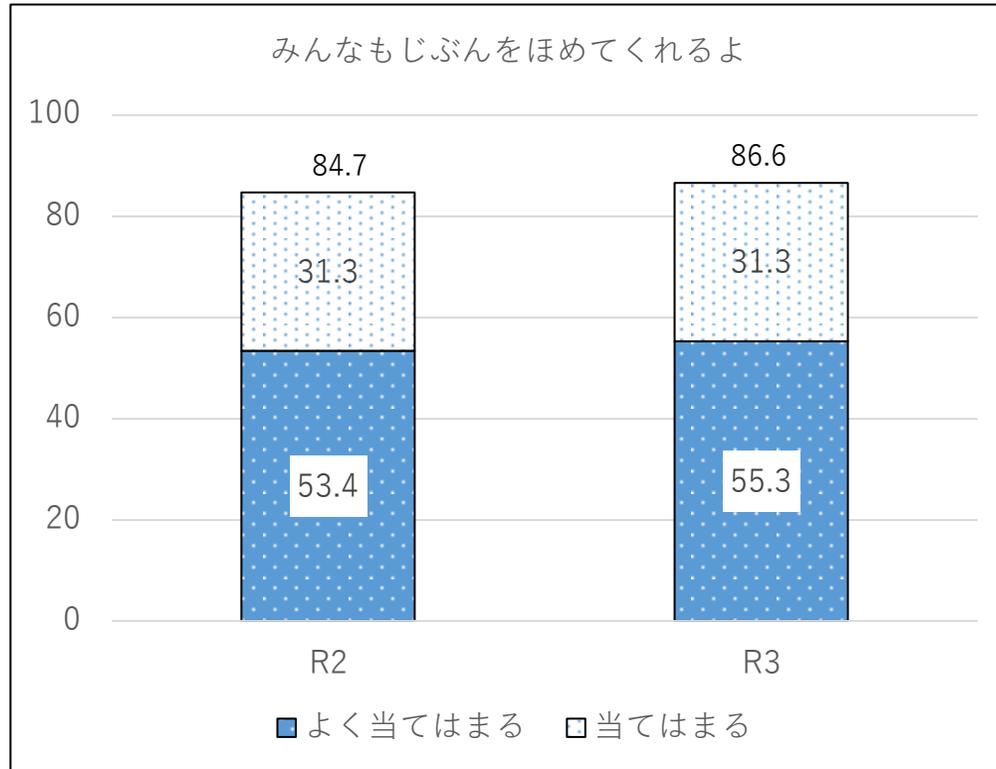


- ・小学生で92.1%、中学生で91%が自他の違いを認め合っている。
- ・R2とR3を比較すると小学校で1.9%、中学校で3.0%増えている。
- ・コロナ禍により日常的に他者の立場を思いやっているように見受けられる。

# ▶【自己肯定感①】子どもは周囲が自分のよさを理解してくれていると感じている

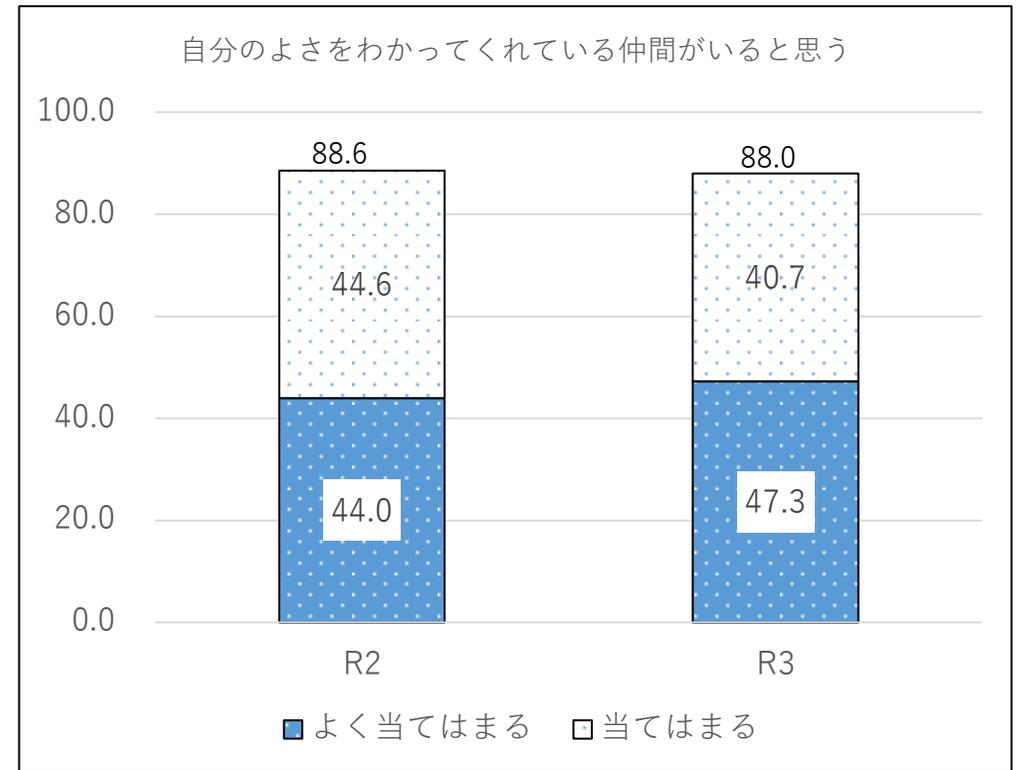
## 小学校

単位：%



## 中学校

単位：%

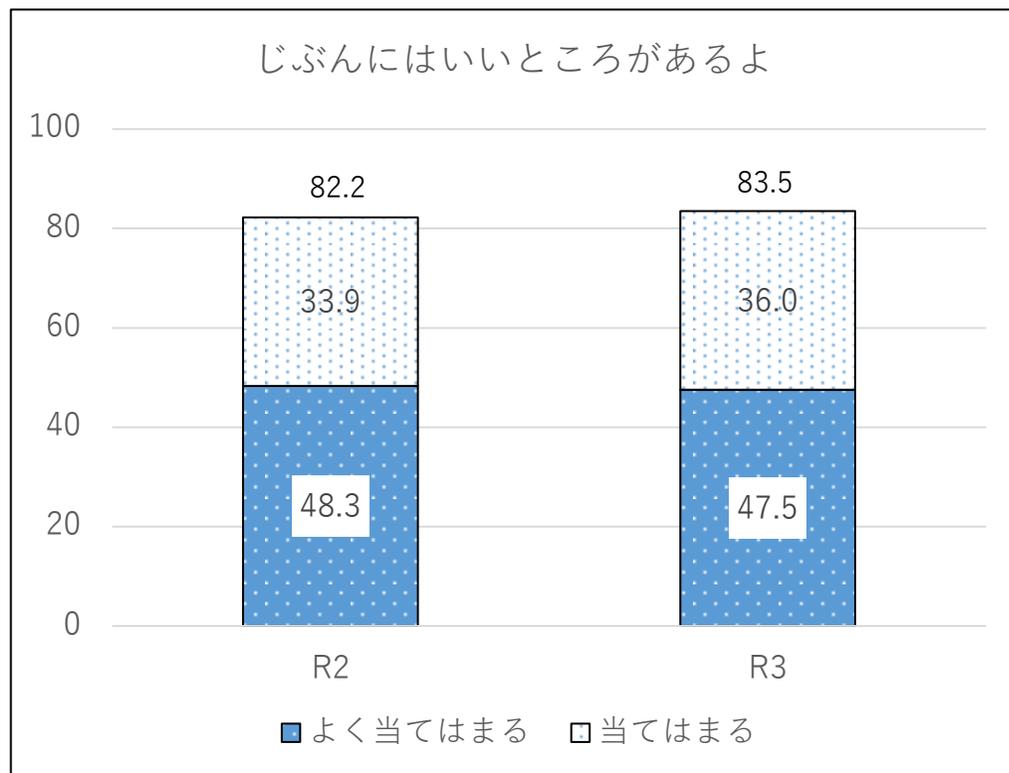


- ・ 9割近くの児童生徒が自分の良さを理解してくれていると感じている。
- ・ R2とR3を比較すると小学校1.9%増、中学校0.6%減である。

## ▶ 【自己肯定感②】 子どもは小さくても確かな自信をもっている

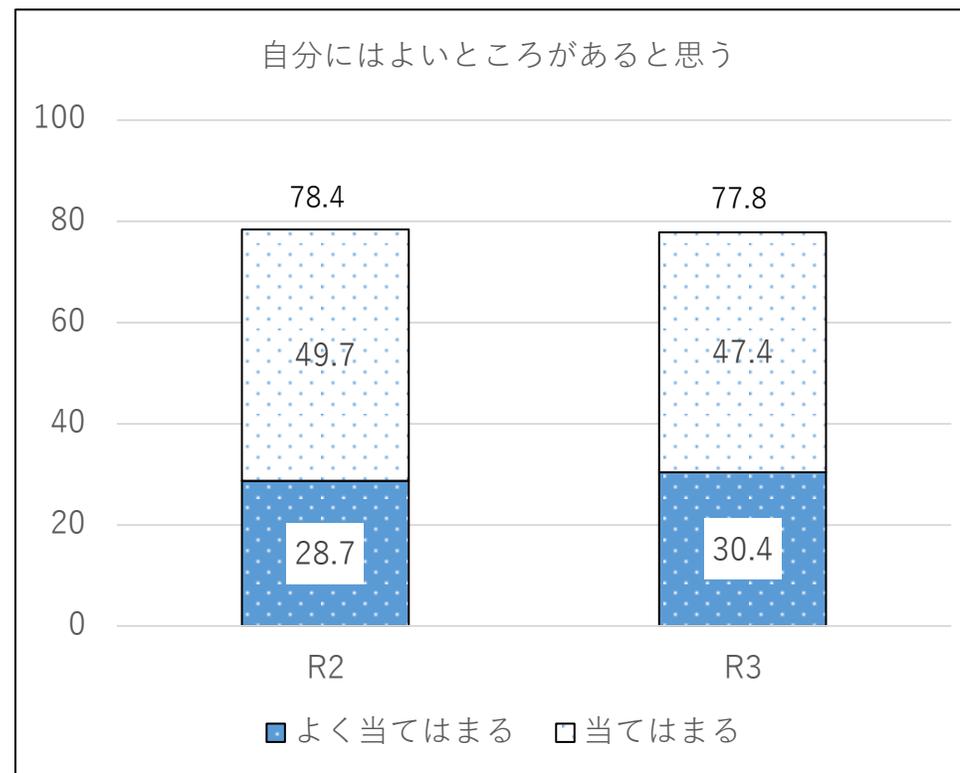
### 小学校

単位：%



### 中学校

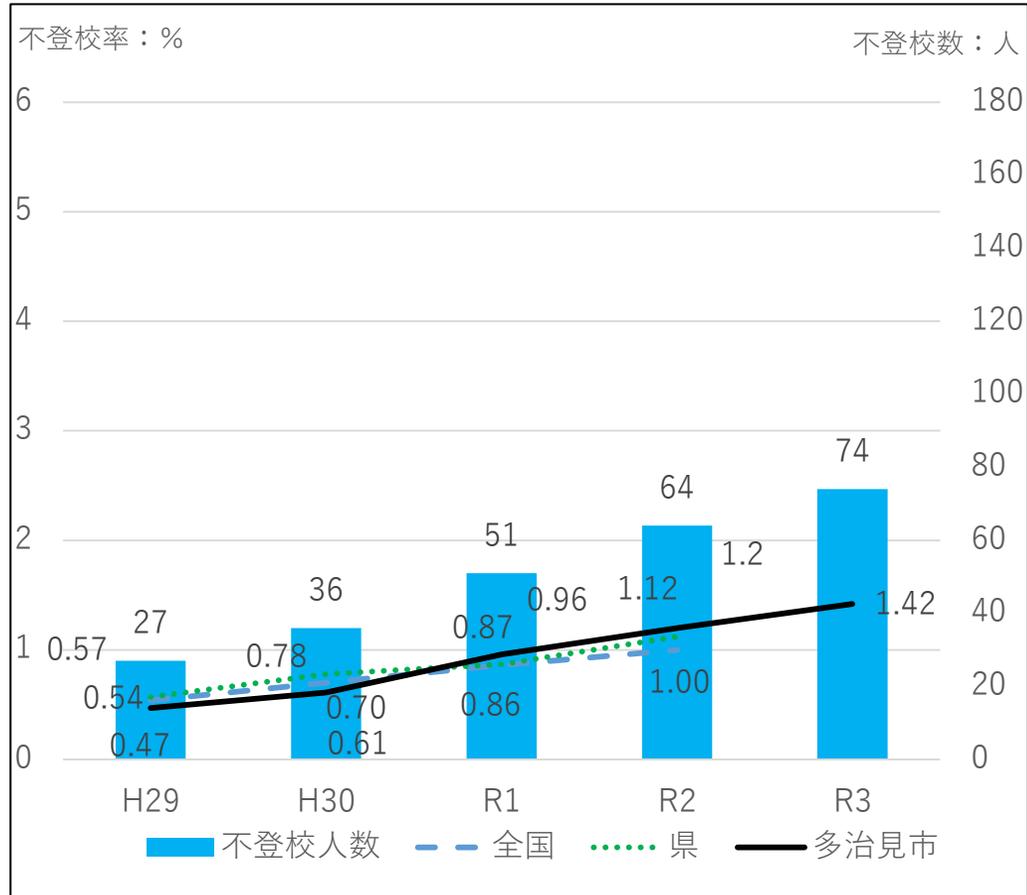
単位：%



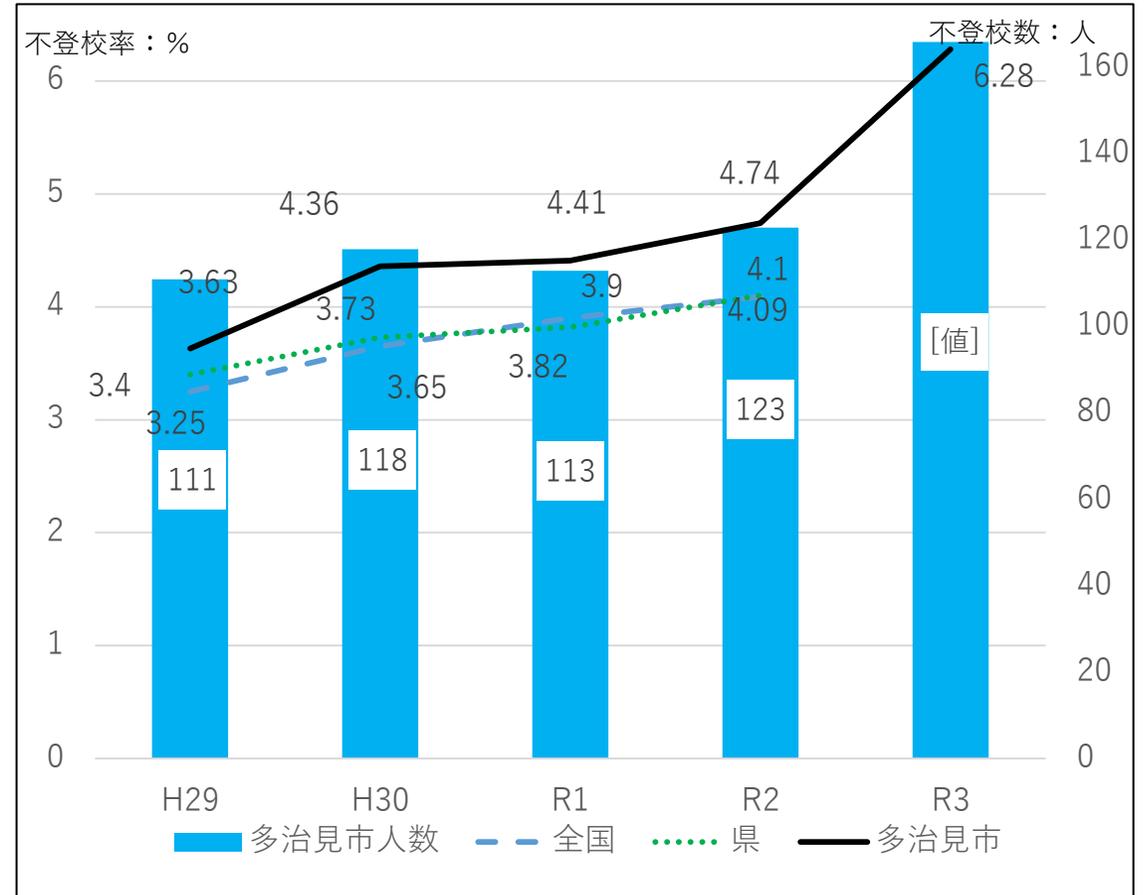
・ 9割近くの児童生徒が自分の良さを理解してくれていると感じている。

## ▶不登校児童生徒の推移

### 小学生

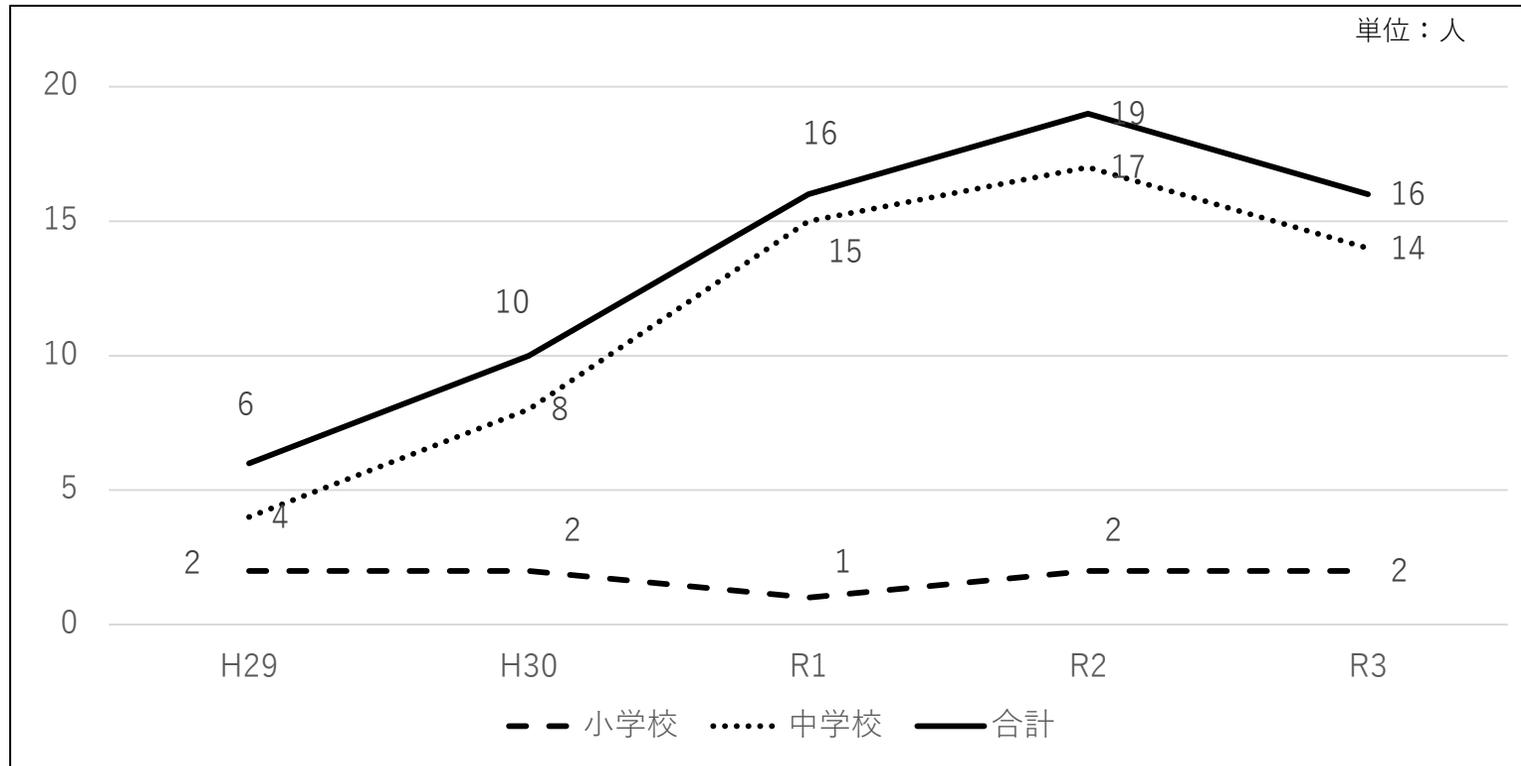


### 中学生



- ・ R3の不登校児童生徒数は、R2に比べて小学校で10人、中学校で43人増えている。年々増加している傾向にある。
- ・ 不登校率については、国と比較すると小学校で0.1%、中学校で0.65%割合が高い。県と比較すると小学校で0.08%、中学校で0.64%割合が高い。（R2で比較）

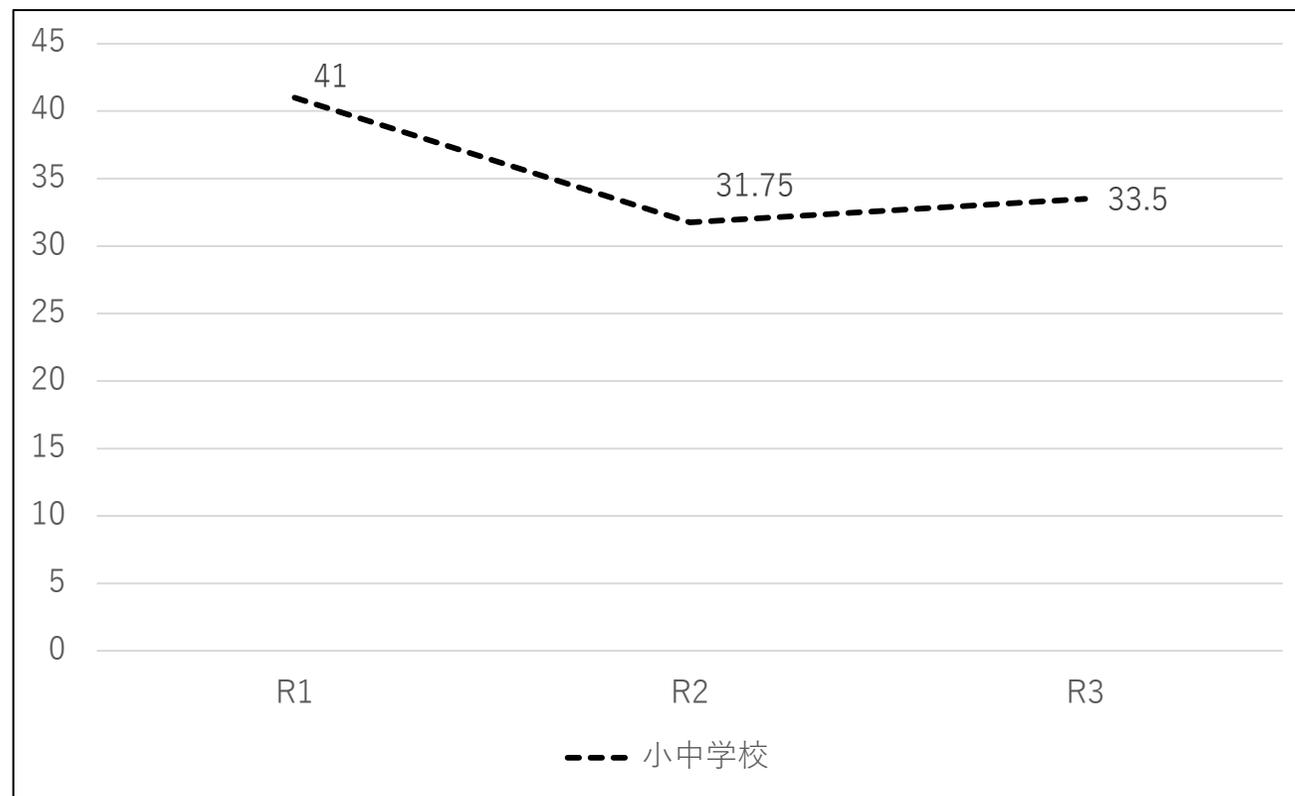
## ▶ さわらび学級通級者の推移



・小学校については、5年間大幅な変化はないが、中学校については、R1から増え約15人前後通級している。

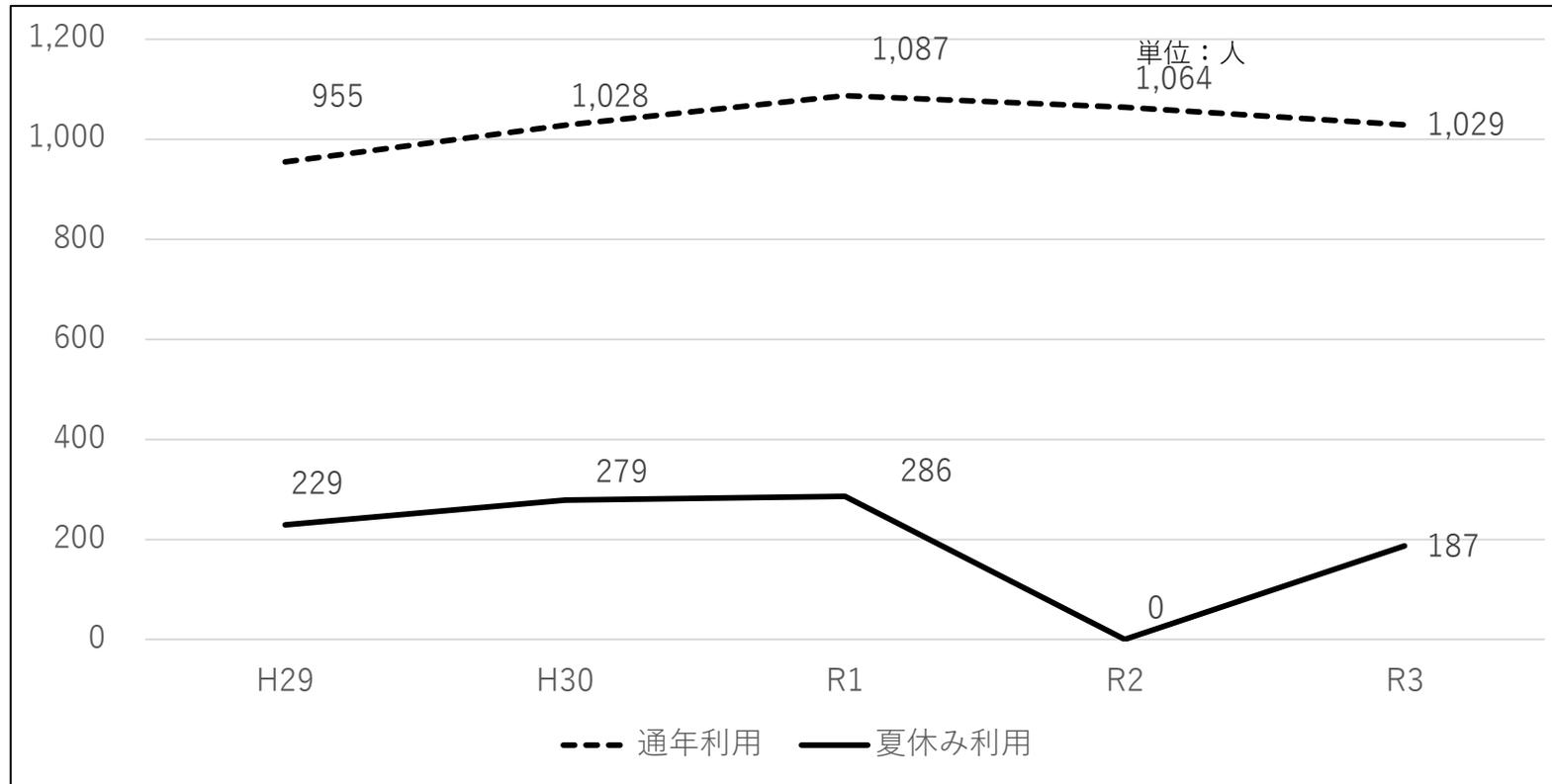
## ▶教職員の超過勤務時間数

単位：時間



- ・ R2はコロナ禍で4~5月臨時休校していたため、R1に比べて時間数は減少している。
- ・ R3はR2に比べてわずかに増加している。

## ▶たじっこクラブ利用者数の推移



- ・ R2は、4月から5月の臨時休校を受けて、夏休みが短縮されたため、夏休み利用者が減っている。
- ・ R2、R3は、コロナ感染予防による利用控えがあり、利用者が減っている。